

Ⅱ 報 告

第 1 「神戸市燃料電池自動車（FCV）普及促進ロードマップ」の策定について

1. 策定の意義

水素エネルギーは、平成 26 年 4 月に策定された国のエネルギー基本計画において「水素社会の実現」が掲げられ、同年 6 月には水素・燃料電池戦略会議において「水素・燃料電池ロードマップ」が発表されるなど、新たなエネルギーとしての利活用が期待されています。

本市でも、民間事業者等 11 団体で構成する神戸市 FCV 導入促進協議会を発足し、水素ステーションの設置、FCV 導入促進、市民・事業者への普及啓発に取り組んでいるところです。

本ロードマップは、神戸市 FCV 導入促進協議会での検討を踏まえ、神戸市域における FCV の普及とその両輪となる水素ステーションの整備を着実に図るために策定するものであり、民間事業者が国の「燃料電池自動車用水素供給設備設置補助事業」に応募する場合、地方自治体の燃料電池自動車普及促進の計画を踏まえることとなっており、これらを共通認識として公民一体となった取組みを推進していきます。

2. 概要

(1) FCV の普及目標

政府目標（FCV の新車販売割合：2030 年 3%）及び神戸市の乗用車保有台数等からの推計値に導入促進施策による効果を見込み目標値を設定

2030 年の神戸市域の FCV 普及目標台数：約 10,000 台

(2) 水素ステーションの整備目標

地域別の FCV 普及台数の想定、水素ステーション 1 基あたりの対応台数目安、道路交通量の状況等から整備目標基数を設定

2030 年の神戸市域の水素ステーション整備目標基数：7 基 ※隣接市への設置も想定

3. 今後の取組み

市民・事業者に水素の安全性や利用価値について理解いただくため、平成 27 年 3 月に FCV ミライを公用車として率先導入し、水素エネルギー実用車セミナー（3 月 26 日・メリケンパーク）を皮切りに各種イベントに展示し普及啓発を図ります。また、平成 27 年度には、市内事業者に対する FCV 購入費助成を行うとともに、再生可能エネルギーから水素をつくり、FCV に供給するスマート水素ステーションを整備するほか、商用ステーションの整備を目指し、設置候補地の調査・検討を進めます。さらに、関西圏での水素エネルギー導入推進に向け、兵庫県を始めとする近隣都市とも連携を図っていきます。